

“ ROTARY : MAKING A DIFFERENCE “

西条 RC 2017-18 テーマ「足元を見つめなおしてみよう！ロータリーに変化を」

国際ロータリー第 2710 地区 グループ 8

西条ロータリークラブ 週報 No.2617 2018年3月1日 3月第1例会



ロータリー：
変化をもたらす

本日のプログラム < 西条RCの歴史の振り返り(東広島 21RC創立よもやま話)
藤本 洋治 会員 >

2/22 会長時間 金好会長



皆さん、こんにちは。本日は久しぶりに木戸会員のお顔を拝見する事
でき、ホッとした気持ちであります。本日はクラブ情報委員会様のお世
話で、テーマ「会員増強について」の情報集会の発表であります。各グ
ループリーダーの皆様、後程は発表宜しくお願い致します。インフル
エンザの流行も警報が出て2ヶ月近くになり現在も患者さんはいらっしや
いますが、先週、先々週でピークを迎え今週に入り少し落ち着いてきた
様に感じております。

それよりむしろ最近では、花粉症の症状が出始めてきております。すで
に先週関東地方でスギ花粉の飛散が確認され、広島県でも少ないですが
飛散が始まっております。スギ花粉症をお持ちの方どうでしょうか？今年
はスギの飛散ピークは3月上旬から中旬、ヒノキが4月上旬と予測されて
おります。これから2ヶ月間花粉症の患者さんにとっては、つらい時期を
迎える事となります。現在日本で花粉症全体では3人に1人、スギ花粉
症でも4人に1人いると言われ、まさしく国民病となっているのです。
そこで本日は、日本の花粉症の歴史について少しお話しさせていただきます。
当然ながら、昔の日本では「花粉症」はおろか、「アレルギー」という病
気自体が認められてはいませんでした。ところが、第二次世界大戦後、
アメリカ進駐軍が持ち込んだ「ブタクサ」が、その繁殖力の強さで一気に
増加。1960年代に、正式に「花粉症」と認められた症状は、ブタクサの
花粉症患者でした。花粉症といえば「ブタクサ」の花粉症だったのです。
その後戦争で焼け野原となった日本を復興させるため、大量のスギを植
林することとなりました。日光市の医師が1963年前後から目や鼻にア
レルギー症状を示す患者が増加したことから、1964年に「栃木県日光地
方におけるスギ花粉症の発見」という論文を発表。これが公式なスギ
花粉症の最初の発表とされています。スギが成長した1980年代、一
斉に大量のスギ花粉の飛散が始まりました。元々、スギは日本固有の植
物で、北海道以外の全国で見ることができる、当たり前の植物でした。
しかし、高度成長期と共に急激に増加してしまったため、私達日本人
の「普通」のキャパシティを超えて、アレルギー物質へと変わってしまった
のだと思います。また、土が減り、アスファルトが増えたことも花粉
症患者増加の理由でもあります。花粉が飛散しても、湿った、デコボ
コした土の上ならば、再び舞い上がるということは減りますが、ア
スファルトの場合、風が吹けばすぐに舞い上がってしまいます。

◆◆◆ プログラムの予告 ◆◆◆

3月 8日(木) 相続税について 脇 博之 税理士

3月 15日(木) 新会員卓話 佐々木 伸治 会員

3月 22日(木) 例会休み

3月 29日(木) PETの報告(山田会長エレクト)

3月 31日(土) 花見例会(4月5日振替)

そのため、スギ花粉が空気中にある時間が長くなってしまい、人間が吸い込みやすくなってしまったということもあります。千葉の林業試験場で花粉の出にくい「花粉症対策用のスギ」の量産化に成功。現在では、すでにこの「花粉の出にくいスギ」の苗木の出荷が始まっています。ただ、スギが成長するのは40年ほど。まだまだ、スギ花粉に悩まされることでしょう。日本では、スギと同時期に植えた「ヒノキ」の花粉症患者も、スギに遅れて増加してきました。スギ花粉がすっかりなくなるという日がくることはまずありえないので、日頃から花粉症対策を行なっていくましよう。

前回 (2/22) のプログラム < 情報集会の発表 テーマ: 会員増強について >

1班 リーダー高原会員 菅生会員、小早川会員、坂田会員、三木会員

日時 平成30年2月15日 PM 6:30～ 場所 藤乃家

副題 「法人会員他会員資格について」

家族会員と法人会員などについて、熱心に討議をさせていただきました。

その結果としましては、門戸を開いて、垣根を低くしたほうが良いという結論になりました。参考として提示されました岩国ロータリークラブでは、「家族会員」は例会食事費と外部支出金を賄える80%の会費としております。また「法人会員」は、追加1名については、例会参加時にはビジターフィーを別途もらうため、食事費を除いた50%とし、二人で通常の150%の会費としておりますが、その会費設定では高すぎるのではないかと、もう少し安くしたら良いとの意見が多かったです。

「家族会員」につきましては、会員の本人の退会に伴う世代交代になっていた状況から、会員の継承が出来やすいのではないかと意見がありました。

「法人会員」につきましては、企業からすると、一人でも大変なのに二人までは無理だ。お金持ちの会社は良いが、経済的負担は決して軽くないのではないかと意見もありました。

西条ロータリークラブに入会するのに障害になるのは、出席率と敷居が高いことでは無いかとの意見がありました。その障害を無くするには、「家族会員」「法人会員」の会員資格の定款変更をしたところで、入会する人がいるかどうかは分からないが、出席率、会費の負担感が無いほうが良いとの意見もありました。

十分な討議を重ねたのち、参加者で懇親を深めました。以上、1班の報告とさせていただきます。ありがとうございました。



2班 リーダー久保会員 竹内会員、新開会員、平賀会員、三名田会員

日時 平成30年2月8日(火) 18時30分～ 場所:藤乃家

副題 「法人会員、家族会員の創設について」

出された意見

- 会員資格について、法人会員、家族会員とも、「正会員」として認められたものでないため、敢えて言うなら「準会員」というべき位置づけとなる。
- 法人会員、家族会員とも将来の正会員加入への捨て覆うと考えるのであれば、会員増強に繋がる方策として対応も可能と考えるが、あくまでも正会員をふやすことが目的であるべき。
- 法人会費について、岩国 RC の事例について言えば、つぎの理由から十分に検討すべき。



①法人会員の例会参加者は1名で、事前登録者との2名での参加は1名分ビジター費用を徴収すること、また、正会員でない立場からRI等への人頭負担金の対象とならないのであれば、正会員より年会費が高い設定は理屈に合わない。

②RI等への上納金の負担義務の有無等を考慮した設定にすべきではないか。

○その他意見

- ・家族会員について、正会員、免除会員の代理出席者として子弟等の家族の例会参加を認めることも良いのではないか。(子弟の入会に繋がる)
- ・現在の会員の子弟が継続的に入会するためには(子弟に関わらないが)、現会員が西条RCの活動について魅力ある楽しいクラブであると表現することが重要である。

○結論

- ・新たな正会員増強のステップとして検討に値する。

3班 リーダー小松会員 柳本会員、上田(裕)会員、栢本会員、藤本会員、金好会長、松重会員、島会員

日時 平成30年2月13日(火) 18時30分～ 場所:藤乃家

副題 「法人会員他会員資格について」

- 岩国ロータリークラブでの会員資格や会費について、沢山の意見が出ましたが、「会員資格」と「会費」について、定款に明記することで会員拡大に繋がります。又、次世代へのバトンタッチもスムーズに進んでいくことが出来ると思います。
- 会員増強については、①誰をいつまでに入会させていくか②入会して欲しい人に誰が話をした方が効果的なのか③誰が推薦人で教育をしていくのかを具体的に話し合い、会員一人一人が積極的に取り組んでいく必要があります。

●意見交換 金好会長から提議

40代50代若い会員を増やすことが大事である。同世代の方々を入れることが出来る。

法人会員であれば、忙しくて毎週出席出来ない時は、会社でもう一人出席出来る。

会員数が少ないと委員会構成を作る時に困る。一人が三つも四つもやっけていて活躍出来ない。

「家族会員」 父親が後継者をひっぱってきたらどうか。親子ではやりにくいのでは。会長経験者は全員家族会員を入れてはどうか。

「法人会員」 メークアップが出来ない時に会社からもう一人いれば参加出来るし、会員を増やすことも出来る。

ゴルフクラブの会員みたいだ。例えば二人が二回ずつ例会に参加して、情報を共有することが出来るのか。

ロータリークラブで若い世代が熟年の世代に会い、学ぶ事が大切だと思う。

●会員増強について

実際に名前が上がった人 1. 高垣市長 2. ダイキョーニシカワ(株) 3. (株)オンド



4班 リーダー武島会員 今谷会員、佐々木伸二会員、山田会長エレクト
日時 平成30年2月8日(木) 18:30～ 場所 藤乃家
副題 「法人会員他会員資格について」

協議内容

会員増強委員会メンバーとして

- ・会員、家族会員に関しては導入することは問題ないが、エントリーメンバーの会費の割合を出来るだけ軽減するよう検討が必要。
- ・導入した場合のカウント方法を確認すること。例えば 法人会員は一企業一カウント、家族会員含め2名が例会出席した場合は2名のカウントとするのかどうか。

・何れにしても「会員増強の具体的なリクルート方法」という事を今一度委員会で協議する必要がある。

例えば 誰が いつ 何処へ 更にはリクルート先の担当者を決め、アポはいつとるのかなど正味具体的に決めないと進まず決まらない。

幹事として

本日の発表を受け、会長と相談のうえ理事会の協議・審議を頂き必要とあらば臨時総会を開催する。



5班 リーダー奥本会員 宇治木会員、岩井会員、要源会員、安武会員、須賀会員
日時 平成30年2月8日(木) 18:30～ 場所 藤乃家
副題 「法人会員他会員資格について」

まず家族会員については、西条ロータリークラブには、これまでも親子や兄弟といった家族で入会されていた方々もたくさんいらっしゃいますので、岩国ロータリークラブさんが取り組まれている内容に関しては、特に目新しいものではないと思いますが、クラブの間口を広げるという意味での、選択肢が増えることは良いことだと思います。

ただし、そのことで会員増強に繋がるかどうかは、家族に入会を躊躇されている方がいらっしゃるとして、金額的などところが問題で躊躇されているのかどうかだと思いますが、新しくルールを決めることで勧誘を促すことには繋がると思います。

企業会員について、こちらは例会の参加人数が増えて、活気が出るという意味においても良いのではないかと思います。

それにより新しい方にも例会に参加していただける機会が出来て、そこからまた新たな会員増強に繋がると考えられますので、良いことだと思います。

結果として、我々の班では、規約を変更することが良いのか、仮に変更したときに何か問題があるのか、という点に注力して協議をいたしました。特に反対する理由はなく、むしろルール化して、そういう方々も勧誘対象として幅広く増強活動をした方が良いのではないかと意見となりました。



総評



クラブ研修委員会 委員長 平賀弥泉

「法人会員・家族会員」については各班とも概ね賛成のようです。門戸を開くため、正会員へのステップとして、次世代へのバトンタッチに、といった好意的な意見でした。課題としては会費の率を挙げられた班が複数ありました。したがって「法人会員・家族会員」については、今後も理事会等で検討される価値があると思います。

今年度も計画していた通り二度の情報集会を行いました。少人数で食べながら飲みながら話し合うというのは会員同士の親交を深める大変いい機会であると思います。皆さん、ご協力有難うございました。

出席報告

会員数	39名	出席者	32名
欠席者	5名	免除者	2名
来訪者	2名	出席率	82.05%
2/1の欠席	3名	メイクアップ	3名
		通算出席率	99.78%
前回欠席者	6名	メイクアップ	6名

お客様

東広島 RC
梶原 賢典 様
立川 宏治 様

委員会報告

- 国際奉仕委員会 本田委員長
次年度は地区補助金を使って、タイのクラブとマッチング・グラントで山岳民族の家庭崩壊児童の支援ができないか、写真家の加藤さんの案内で奥本会員と現地調査に行ってきます。
- 親睦委員会 栢本委員長
花見例会 3/31(土)三景園散策後広島エアポートホテルで例会を開催します。

幹事報告

- 米山功労クラブ 32回の表彰をいただきました。
- 米山奨学生 余 盼盼(ヨハンハン)さん
中国女性のお世話することになりました。
カウンセラーは小早川会員です。
- 例会場の時計が壊れましたので、3クラブ
共同で購入します。

お祝い時間

- 連続 100%出席
43年 今谷会員
21年 寺川 会員
7年 上田 俊二会員



スマイルボックス

○米山功労クラブ 32 回表彰

金好会員 須賀会員 竹内会員 小早川会員
武島会員 奥本会員

○連続 100%出席おめでとうございます。

今谷会員 寺川会員 上田俊二会員

○会社創立記念日おめでとうございます。 木戸会員

○20 世紀に継続発展した伝統産業景観の代表として

西条の酒造施設群が選ばれました。 木戸会員

○結婚 50 周年記念日おめでとうございます。木戸会員

○入会記念日おめでとうございます。 木戸会員

宇治木会員

○2 月 3 日から 10 日まで、広島アセアン協会主催で「イ

ンドネシアマレーシア視察ツアー」にいきました。

アセアン本部訪問や起票視察、在日本大使館での

歓迎会等大変有益な視察ツアーになりました。

小松会員

○ポールハリスフェロー受賞 小松会員

○私の奥さんが東京ドームで開かれたテーブルウェア

フェスティバル 2018 に於いてテーブルウェア大賞・

経済産業大臣賞をいただきました。応募 2000 点以

上の頂点です。

菅生会員



☆Memo☆

西条ロータリークラブ 創立 1964 年 5 月 11 日 例
例会場 〒739-0024 東広島市西条町御菌宇円城寺 6950-2 グ
事務所 〒739-0025 東広島市西条中央 7-23-35 東広島

URL:<http://www.saijor-rc.jp>

会長 金好 康隆 副会長 須賀 宏 幹